

日時 2018年 **7月1日** (日)

14時～16時50分

場所 **和泉橋区民館 洋室A**

- JR 秋葉原駅 昭和通り口から徒歩 2 分
- 都営新宿線岩本町駅から徒歩 3 分
- 東京メトロ日比谷線秋葉原駅から徒歩 1 分

参加費 第 1 部 + 第 2 部 1000 円
第 1 部のみ 500 円

役所に行くのも
弁護士に会うのも
裁判所に行くのも
一人では不安だった

一人ではうまく話せなかった
一人ではできなかった
…かもしれない

でも、隣に寄り添ってくれる
人がいて

信じてくれる人がいて
踏み出すことができた
立ち向かうことができた

同行支援は私の命綱になった

(DV 被害者から)

●報告 & 交流ワークショップ

同行支援の〈見える化〉とこれからの DV 被害者支援

14:00～ 第 1 部 同行支援報告

武石智香子さん（中央大学教授）によるデータ分析発表
東京の民間支援団体の約 60 人の支援員レポートから、同行支援の量的・質的現状分析、同行先／同行依頼者からの同行支援の評価

15:00～ パネルディスカッション

同行支援からみえる支援の現状とこれから
・本同行支援コーディネーター（日本人、外国籍）
牧田真由美さん（GEM）、福島由里子さん（ウェアワリー）
・森史子さん（ぶどうの木代表、
いずみ寮地域サポートシステムコーディネーター）
・武石智香子さんほか

15:40～ 第 2 部 交流ワークショップ

（飲み物・軽食あり）

これからの DV／暴力被害者支援について参加者との意見交換

16時50分 終了

暴力から逃れて新たな生活を始める時、DVの被害を受けた人たちは、弁護士への相談、調停や裁判、行政への支援の申出、治療での通院等、さまざまな機関へ赴きます。一人では不安で、思うように意見を言うこともままならないこともあります。そうした時に必要とされるのが同行支援です。私たち東京にある民間支援団体は、被害当事者に寄り添い、同行する支援を続けています。

今年、私たちが実施してきた同行支援の現状を「見える化」しました。同行支援の現状の報告と、そこから見える支援のこれからについて、多様な支援に関わる人たちの交流ワークショップを開きます。

アドボケーターとは、声を奪われた被害者の権利を擁護し、必要に応じて同行支援を行う人。（『アドボケーター養成プログラム』FTCシェルター刊から）

お問合せ、お申込みは kensyu@werc-women.org

主催 一般社団法人ウエルク